

# 特定本邦航空運送事業者（※）に関する航空輸送サービスに係る情報公開（平成25年4～6月）のポイント

## ※特定本邦事業者

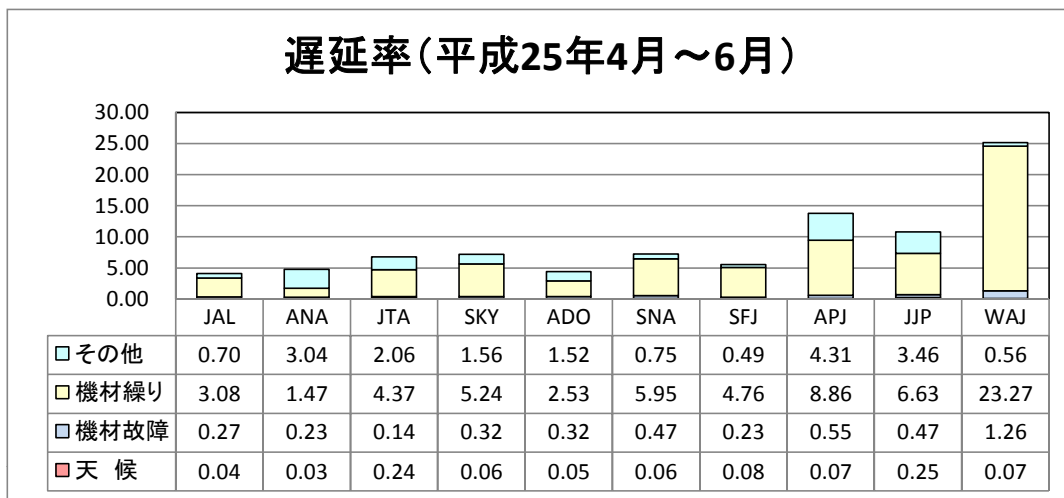
- 日本航空: JAL (日本航空、ジェイエア、ジャルエクスプレス)
- 全日本空輸: ANA (全日本空輸、ANAウイングス)
- 日本トランスオーシャン航空: JTA
- スカイマーク: SKY
- AIRDO: ADO
- スカイネットアジア航空: SNA
- スターフライヤー: SFJ
- Peach Aviation: APJ
- ジェットスター・ジャパン: JJP
- エアアジア・ジャパン: WAJ

## 1. 輸送サービスの比較等に関する情報

### (1) 遅延率（平成25年4月～6月）

当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
5.40%	4.70%	0.7ポイント上昇

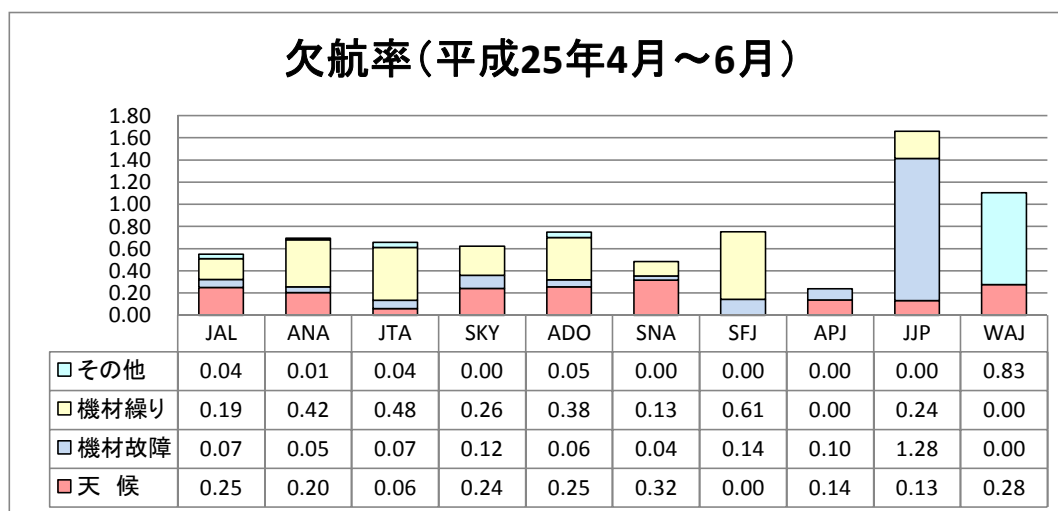
※備考「遅延便」とは、出発予定時刻より15分を超えて出発した便をいう。



※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。(夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。)

### (2) 欠航率（平成25年4月～6月）

当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
0.66%	1.41%	0.75ポイント減少



※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。(夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。)

## 2. 運賃関連情報

### (1) 輸送実績（平成25年4月～6月）

項目	当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
平均搭乗区間距離	918km	911km	0.77%増
輸送人員	2040万3993人	1895万8938人	7.62%増
輸送人キロ	187億3416万人km	172億7138万人km	8.47%増
旅客収入	2871億32百万円	2825億58百万円	1.62%増
輸送人員あたり 旅客収入	14.1千円	15.3千円	5.37%減
輸送人キロあたり 旅客収入	15.3円	16.7円	6.71%減

### (2) 路線別データ（平成25年4月～6月）

#### ①旅客数

上位5路線は次のとおり。

1位	東京＝札幌	204万6440人
2位	東京＝福岡	185万9611人
3位	東京＝大阪	129万4207人
4位	東京＝那覇	103万9036人
5位	東京＝鹿児島	52万6840人
	全路線	2018万4274人

#### ②利用率

上位5路線は次のとおり。

1位	関西＝仙台	87.1%
2位	那覇＝岡山	85.9%
3位	大阪＝那覇	85.4%
4位	関西＝鹿児島	84.2%
5位	松山＝成田	80.4%
	全路線	58.9%

下位5路線は次のとおり。

1位	東京＝大島	21.8%
2位	成田＝広島	23.2%
3位	宮古＝石垣	29.0%
4位	羽田＝三宅島	32.6%
5位	成田＝新潟	36.2%
	全路線	58.9%

## 3. フレックストラベラー制度（※）に関する情報

平成25年4～6月における、フレックストラベラー制度を有する航空会社又はグループの全輸送人員に対する不足座席数の割合（1万人あたり）が高かった上位3社は次のとおり。

（※）オーバーセールズ（搭乗手続きにきた予約客の数が提供座席数を上回る結果、座席を提供できない予約客が発生すること）の発生が判明した時点で、自主的に搭乗を取りやめる旅客を航空会社が幅広く募集する。

		全輸送人員に対する不足座席数の割合 （1万人あたり）	
		当期実績	前期実績
①	全日本空輸	1.50人	0.92人
②	日本航空	1.33人	1.24人
③	スターフライヤー	1.22人	1.28人
	全社平均	1.36人	0.97人